

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名,薬剤名等)
2551	フェノバルビタール <small>3L175-0000-023-062 3L175-0000-022-062</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	治療有効濃度 15~40	次回投与直前 (Trough濃度)	フェノバル、 ワコビタール、 ルミナル
		血漿0.5	19	冷蔵						
2552	プリミドン <small>3L190-0000-023-024 3L190-0000-022-024</small>	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度 5.0~12.0		プリミドン、 プリムロン  ※02
		血漿0.3	19	冷蔵						
2553	フェニトイン <small>3L185-0000-023-062 3L185-0000-022-062</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	治療有効濃度 10.0~20.0	経口:次回投与直前 (Trough濃度) 静注:投与後 2~4時間	アレピアチン、 ヒダントール、 ジフェニルヒダントイン
		血漿0.5	19	冷蔵						
1137	遊離フェニトイン <small>3L187-0000-023-062</small>	血清1.0	1	(分離後) 凍結	5~11	特定薬剤 治療管理料	限外ろ過法 EIA法			アレピアチン、 ヒダントール、 ジフェニルヒダントイン ※02
2554	カルバマゼピン <small>3L115-0000-023-062 3L115-0000-022-062</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	治療有効濃度 4.0~12.0		テグレトール、 テレスミン、 レキシソ
		血漿0.5	19	冷蔵						
2555	エトスクシミド <small>3L135-0000-023-024 3L135-0000-022-024</small>	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度 40.0~100.0	次回投与直前 (Trough濃度)	ザロンチン、 エピレオプチマル  ※02
		血漿0.5	19	冷蔵						
2559	バルプロ酸 <small>3L195-0000-023-062 3L195-0000-022-062</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	治療有効濃度 50~100		デバケン、 セレニカR、 バレリン、 ハイセレニン
		血漿0.5	19	冷蔵						
1139	遊離バルプロ酸 <small>3L196-0000-023-024</small>	血清1.0	1	(分離後) 凍結	5~11	特定薬剤 治療管理料	限外ろ過法 EIA法			デバケン、 セレニカR、 バレリン、 ハイセレニン ※02

特定薬剤治療管理料 (46ページ参照)

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われま。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備考 (製品名,薬剤名等)
抗てんかん剤	1117 ゾニサミド <small>3L210-0000-023-204</small>	血清0.3	1	冷蔵	4~5	特定薬剤 治療管理料	HPLC法	$\mu\text{g/mL}$ 治療有効濃度 10.0~30.0		エクセグラン ※01
	1118 トリメタジオン <small>3L205-0000-023-210</small>	血清0.5	1	凍結	7~13	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	$\mu\text{g/mL}$ 治療有効濃度 300.0~500.0		ミノアレ (活性代謝物であるジメ タジオンを測定) ※01
	2557 クロナゼパム <small>3L125-0000-023-210</small>	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC/MS/MS	$\text{ng/mL}$ 治療有効濃度 25~75	次回投与直前 (Trough濃度)	リボトリール, ランドセン ※02
	2558 ニトラゼパム <small>3L165-0000-023-210</small>	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料		$\text{ng/mL}$ 治療有効濃度 200以下	次回投与直前 (Trough濃度)	ベンザリン, ネルボン ※02
	5372 ジアゼパム <small>3L130-0000-023-204</small>	血清0.5	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	HPLC	$\text{ng/mL}$ ジアゼパム治療有効濃度 600~1000	ただし、抗てん かん剤として用 いる場合	N-デスメチルジアゼ パムも同時報告いた します。 ※02
	4651 クロバザム <small>3L145-0000-023-210</small>	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC/MS/MS	$\text{ng/mL}$		デスメチルクロバザム も同時報告いたします。 マイスタン ※02
	1425 アセタゾラミド <small>3L950-0000-023-204</small>	血清0.3	1	冷蔵	4~10	特定薬剤 治療管理料	HPLC	$\mu\text{g/mL}$		ダイアモックス ※02
	4867 ガバペンチン <small>3L215-0000-022-210</small>	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC/MS/MS	$\mu\text{g/mL}$		ガバペン錠 ※02
	4945 ラモトリギン <small>3L220-0000-022-210</small>	血漿0.3	19	凍結	4~7	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	$\mu\text{g/mL}$		ラミクタール ※01
	4997 レベチラセタム <small>3L230-0000-022-210</small>	血清0.3	1	凍結	4~5	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	$\mu\text{g/mL}$		イーケブラ ※06
	4960 トピラマート <small>3L225-0000-022-210</small>	血清0.3	1	凍結	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	$\mu\text{g/mL}$		トピナ ※06

精神神経用剤	1072 リチウム <small>3L320-0000-023-271</small>	血清0.6	1	冷蔵	3~4	特定薬剤 治療管理料	比色法	$\text{mEq/L}$ 治療有効濃度 0.6~1.2	最終投与後12 時間または早朝 投与前 (Trough濃度)	採血時刻についての 注意事項は下記をご 参照ください。 リーマス, リチオマール ※33
	2463 ハロペリドール <small>3L300-0000-023-117</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	金コロイド 凝集法	$\text{ng/mL}$ 治療有効濃度 3.0~17.0	随時	セレネース, ハロマンズ, リントン, ネオペリドール, ハロステン ※01
	5236 ブロムペリドール <small>3L302-0000-023-195</small>	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料		$\text{ng/mL}$ 治療有効濃度 15以下	随時(ただし採血時 刻を一定とする)	インプロメン, ルナブロン ※02

強心剤	2572 ジゴキシン <small>3L765-0000-023-062 3L765-0000-022-062</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	$\text{ng/mL}$ 治療有効濃度 0.9~2.0	経口：投与後8時間~ 次回投与直前 (消失相) 静注：投与後4時間~ 次回投与直前 (消失相)	ジゴシン
		血漿0.5								

特定薬剤治療管理料(46ページ参照)

### 採血時刻についての注意事項

- 1 TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われる。

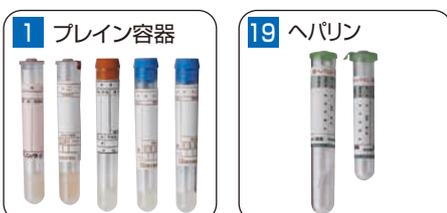


項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備 考 (製品名, 薬剤名等)
5388	リドカイン 3L875-0000-023-024	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度 1.2~5.0 μg/mL	静注:投与後2時間 点滴静注:6~12時間	キシロカイン ※02
5387	キニジン 3L900-0000-023-062 3L900-0000-022-062	血清0.4	1	冷蔵	3~9	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度 2.0~6.0 μg/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	硫酸キニジン ※02
		血漿0.4	19	冷蔵						
5451	ジソピラミド 3L865-0000-023-024	血清0.6	1	冷蔵	2~3	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度 2.0~5.0 μg/mL		ノルベース, リスモダン, カフィール, リスラミドR ※33
2574	プロカインアミド 3L890-0000-023-024 3L890-0000-022-024	血清0.4	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	治療有効濃度 4.0~10.0 μg/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	塩酸プロカインアミド アミサリン ※02
		血漿0.4	19	冷蔵						
2363	プロパフェノン 3L897-0000-023-210	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC/MS/MS	ng/mL		プロノン ※02
5407	メキシレチン 3L880-0000-023-210	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料		治療有効濃度 0.5~2.0 μg/mL	経口:次回投与直前 (Trough濃度) 静注:随時	メキシチール, メキシレート, ※02
0168	ピルシカイニド 3L896-0000-023-210 3L896-0000-022-210	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料		Peak濃度 0.2~0.9 μg/mL	経口:次回投与後 1~2時間後	タツビルジン サンリズム ピリジニック アリスリズム ※02
		血漿0.3	19	冷蔵						
1460	シベンゾリン 3L898-0000-023-210 3L898-0000-022-210	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	Trough濃度 70~250 ng/mL	朝投与直前 (Trough濃度)	シベノール ※02	
		血漿0.3	19	冷蔵						
5238	フレカイニド 3L905-0000-023-210 3L905-0000-022-210	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	治療有効濃度 200~1000 ng/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	タンボコール ※02	
		血漿0.3	19	冷蔵						
5055	ベプリジル 3L802-0000-022-210	血漿0.3	19	冷蔵 (21日)	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	250~800 ng/mL	投与後3時間 (Peak値)	ベプリコール ※02

特定薬剤治療管理料 (46ページ参照)

## 採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行って下さい。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備考 (製品名,薬剤名等)
不整脈用剤	4602 <b>ピルメノール</b> 3L899-0000-022-204	血漿1.3	19	冷蔵	4~7	特定薬剤 治療管理料	HPLC	ng/mL 治療有効濃度 400.0以上	随時	ビメノール ※02
	1116 <b>アプリンジン</b> 3L855-0000-023-210 3L855-0000-022-210	血清0.3	1	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC/MS/MS	μg/mL 治療有効濃度 0.25~1.25	経口: 次回投与直前 (Trough濃度) 投与2~4時間 (Peak濃度)	アスパノン ※02
		血漿0.3	19						静注: 次回投与直前 (Trough濃度)	
	4603 <b>アミオダロン</b> 3L800-0000-022-210	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC/MS/MS	ng/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	アミオダロン 有効血中濃度: 500~1000ng/mL (200mg/日投与、 定常状態、トラフ値) Desethyl Amiodaron/ Amiodaron=0.8 (定常状態)。 アンカロン ※02
5386 <b>プロプラノロール</b> 3L895-0000-023-204 3L895-0000-022-204	血清0.3	1	冷蔵	5~11			HPLC	ng/mL 治療有効濃度 50~100		インデラル, ヘルツベース ※02
	血漿0.3	19								

抗生物質製剤	2579 <b>ゲンタマイシン</b> 3M606-0000-023-024	血清0.4	1	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL Peak 15~20 Trough 1未満	点滴開始1時間後(30分で投与した 場合、終了30分後)(Peak濃度) 投与前30分以内(Trough濃度)	ゲンタシン, エルタシン, ルイネシン ※02
	2578 <b>トブラマイシン (ピーク値)</b> 3M602-0000-023-024	血清0.4	1	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 15~20	点滴開始1時間後(30分 で投与した場合、終了30 分後)(Peak濃度)	トブラシン
	4857 <b>トブラマイシン (トラフ値)</b> 3M602-0000-023-024	血清0.4	1	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL 治療有効濃度 1未満	投与前30分以内 (Trough濃度)	※02
	2576 <b>アミカシン</b> 3M601-0000-023-062	血清0.4	1	凍結	3~5	特定薬剤 治療管理料	EIA法	μg/mL Peak 50~60 Trough 4未満	点滴開始1時間後(30分で投与した 場合、終了30分後)(Peak濃度) 投与前30分以内(Trough濃度)	アミカマイシン, ピクリン ※02
	1426 <b>アルベカシン</b> 3M613-0000-023-062	血清0.3	1	凍結 (21日)	3~5	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Peak 15~20 Trough 1~2未満	点滴開始1時間後(30分 で投与した場合、終了30 分後)(Peak濃度) 投与前30分以内 (Trough濃度)	ハベカシン ※02
	5482 <b>バンコマイシン</b> 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 未設定	投与前30分以内 (Trough濃度)	塩酸バンコマイシン
	4796 <b>バンコマイシン トラフ値</b> 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL Trough 10~15	投与前30分以内 (Trough濃度)	塩酸バンコマイシン
	4797 <b>バンコマイシン ピーク値</b> 3M530-0000-023-062	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集法	μg/mL 未設定	未設定	塩酸バンコマイシン
	4541 <b>テイコプラニン</b> 3M532-0000-023-062	血清0.3	1	冷蔵	3~5	特定薬剤 治療管理料	ラテックス 凝集比濁法	μg/mL Trough 15~30	投与前30分以内 (Trough濃度)	下記参照 タゴシッド ※02
4868 <b>ポリコナゾール</b> 3M698-0000-022-210	血漿0.3	19	冷蔵	4~6	特定薬剤 治療管理料	LC-MS/MS	μg/mL		ブイフェンド ※02	

特定薬剤治療管理料 (46ページ参照)

### 採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

### [4541] テイコプラニン検査について

医薬品添付文書には、「テイコプラニンのトラフレベルの血中濃度は、敗血症などの重症感染においては確実な臨床効果を得るために10μg/mL以上を保つこと。但し、トラフレベルの血中濃度が60μg/mL以上になった場合には腎障害、聴覚障害等の副作用の発現に注意すること。またトラフレベルの血中濃度が20μg/mL以上で一過性に肝機能検査値が軽度上昇したとの報告がある。(医薬品添付文書:2003年1月改訂第8版より)」の内容が記載されております。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	採血時刻	備考 (製品名,薬剤名等)
その他	5379 サリチル酸 <small>3M205-0000-023-271</small>	血清0.4	1	冷蔵	3~5	特定薬剤治療管理料	酵素法	μg/mL 抗炎症作用として治療有効濃度 100~250	次回投与直前 (Trough濃度)	アスピリン, バファリン ※02
	2229 シクロスポリン <small>3M805-0000-019-053</small>	血液0.7 (EDTA・2K加) 単独検体	69	凍結	3~5	特定薬剤治療管理料	ECLIA法	ng/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。 ネオオーラル ※02
	4645 タクロリムス <small>3M810-0000-019-053</small>	血液0.7 (EDTA・2K加) 単独検体	69	凍結	3~5	特定薬剤治療管理料	ECLIA法	ng/mL	次回投与直前 (Trough濃度)	他の検査項目との同時依頼はできませんのでご注意ください。投与量を明記してください。 プログラフ ※02
	5453 メトトレキサート <small>3M725-0000-023-024 3M725-0000-022-024</small>	血清0.5	1	冷蔵	3~5	特定薬剤治療管理料	EIA法	μmol/L 危険限界濃度 24時間値 10以上 48時間値 1以上 72時間値 0.1以上	メトトレキサート・ロイコボリン救療療法時 24,48,72時間	メトトレキサート リウマトレックス ※02
		血漿0.5	19							
2556 テオフィリン <small>3M070-0000-023-062</small>	血清0.5	1	冷蔵	1~2	特定薬剤治療管理料	ラテックス凝集法	μg/mL 治療有効濃度 10~20	下記参照☆	テオドール, テオロンG, ユニフィル	

特定薬剤治療管理料 (46ページ参照)

採血時刻についての注意事項

- 1 TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
- 2 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
- 3 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
- 4 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。

☆経口:徐放性製剤では投与後4時間、裸錠では投与後2時間 (Peak濃度)、次回投与直前 (Trough濃度)

静注:負荷投与後30分、点滴開始後4~6、および12~18時間



### 特定薬剤治療管理料

- 特定薬剤治療管理料は、投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。
- 同一の患者につき特定薬剤治療管理料を算定すべき測定及び計画的な治療管理を月2回以上行った場合においては、特定薬剤治療管理料は1回に限り算定することとし、第1回の測定及び計画的な治療管理を行ったときに算定する。
- 本管理料には、薬剤の血中濃度測定、当該血中濃度測定に係る採血及び測定結果に基づく投与量の管理に係る費用が含まれるものであり、1月のうちに2回以上血中濃度を測定した場合であっても、それに係る費用は別に算定できない。ただし、別の疾患に対して別の薬剤を投与した場合（例えば、てんかんに対する抗てんかん剤と気管支喘息に対するテオフィリン製剤の両方を投与する場合）及び同一疾患について、同一の区分に該当しない薬剤を投与した場合（例えば、発作性上室性頻脈に対してジギタリス製剤及び不整脈用剤を投与した場合）はそれぞれ算定できる。
- 薬剤の血中濃度、治療計画の要点を診療録に記載する。
- 特殊な薬物血中濃度の測定及び計画的な治療管理のうち、特に本項を準用する必要のあるものについては、その都度当局に内議し、最も近似する測定及び治療管理として準用が通知された算定方法により算定する。

太文字は総合検査案内書掲載項目です

薬物名	検査項目	対象疾患等	初回月*1	2~3カ月	4カ月以降
ジギタリス製剤	ジゴキシン	心疾患	470 + 280	470	235
		重症うつ血性心不全 (急速飽和*3を行った場合)	740 (急速飽和完了日1回に限る)		
抗てんかん剤	フェノバルビタール、プリミドン、フェニトイン、遊離フェニトイン、カルバマゼピン、エトスクシמיד、バルプロ酸、遊離バルプロ酸、ソニサミド、トリメタジオン、クロナセバム、ニトラセバム、ジアセバム、クロバザム、ガバペンチン、アセタゾラミド、ラモトリギン、レベチラセタム、トピラマート	てんかん*4	470 + 280	470	
		てんかん重積状態 (全身性けいれん発作重積状態)	740 (重積状態の消失日1回に限る)		
	カルバマゼピン、遊離バルプロ酸 バルプロ酸	躁うつ病又は躁病	470 + 280	470	
	遊離バルプロ酸、バルプロ酸	片頭痛		470	235
テオフィリン製剤	テオフィリン	気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫、未熟児無呼吸発作	470 + 280	470	235
不整脈用剤	プロカインアミド、N-アセチルプロカインアミド、ジソピラミド、キニジン、アプリンジン、リドカイン、ビルジカイニド塩酸塩、プロパフェノン、メキシレチン、フレカイニド、シベンソリンコハク酸塩、ビルメノール、アミオダロン、ソタロール塩酸塩、ヘプリジル塩酸塩	不整脈 (断続的に投与)	470 + 280	470	235
ハロペリドール製剤	ハロペリドール	統合失調症	470 + 280	470	235
プロムペリドール製剤	プロムペリドール				
リチウム製剤	リチウム	躁うつ病	470 + 280	470	235
免疫抑制剤	シクロスポリン、タクロリムス水和物、エベロリムス、ミコフェノール酸モフェチル	臓器移植後 (拒否反応の抑制)	470 + 2740*2	470	
	シクロスポリン	ベーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る)、重度の再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者に限る)、ネフローゼ症候群	470 + 280	470	
	タクロリムス水和物	全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎、間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するものに限る)			
サリチル酸系製剤	サリチル酸	若年性関節リウマチ リウマチ熱 慢性関節リウマチ (継続的に投与)	470 + 280	470	235
アミノ配糖体抗生物質	ゲンタマイシン、トブラマイシン アミカシン、アルベカシン	(入院患者に数日間以上投与)	470 + 280	470	235
グリコペプチド系抗生物質	バンコマイシン テイクオブラニン				
トリアゾール系抗生物質	ポリコナゾール	重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植(造血幹細胞移植の患者にあつては、深在性真菌症の予防を目的とするものに限る) (入院患者に数日間以上投与)			
メトトレキサート	メトトレキサート	悪性腫瘍	470 + 280	470	235
イマチニブ	イマチニブ	当該薬剤の適応疾患 (慢性骨髄性白血病など)	470 + 280	470	235
エベロリムス (抗悪性腫瘍剤)	エベロリムス	結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫	470 + 280	470	235
シロリムス製剤	シロリムス	リンパ脈管筋腫症	470 + 280	470	235
スニチニブ (抗悪性腫瘍剤)	スニチニブ	腎細胞癌	470 + 280	470	235

\*1 免疫抑制剤を投与している臓器移植後の患者以外の患者に対して、特定薬剤治療管理に係る薬剤の投与を行った場合は、1回目の特定薬剤治療管理料を算定すべき月に限り、280点を所定点数に加算する。  
 \*2 臓器移植後の患者に対して、免疫抑制剤の投与を行った場合は、臓器移植を行った日の属する月を含め3月に限り、2,740点を所定点数に加算する。  
 \*3 急速飽和とは、重症うつ血性心不全の患者に対して2日間程度のうちに数回にわたりジギタリス製剤を投与し、治療効果が得られる濃度にまで到達させることをいう。  
 \*4 てんかんの患者であつて、2種類以上の抗てんかん剤を投与されているものについて、同一暦月に血中の複数の抗てんかん薬の濃度を測定し、その測定結果に基づき、個々の投与量を精密に管理した場合は、当該管理を行った月において、2回に限り所定点数を算定できる。